

生活科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校教諭 ○○ ○○
教諭 ○○ ○○
教諭 ○○ ○○
教諭 ○○ ○○

- 1 日 時 平成22年〇月〇日 (〇)
- 2 対 象 第1学年
- 3 場 所 〇〇小学校 1年生各教室 体育館
- 4 単元名 「あたらしい1ねんせいがあるよ①」

5 単元について

○ 入学当初、学校生活の様々な場面で戸惑っていた1年生は、学校生活にも慣れ、積極的に活動するようになってきた。また、学校生活の様々な場面で、異年齢の友達と、仲良く活動する楽しさも味わってきている。今回の、自分たちが中心になって活動する取組では、一段と子どもたちの成長を期待できると考える。来年度入学してくる園児を招待し、学校生活の様々なことを教えたり一緒に活動したりして、異年齢の友達とかかわる楽しさを味わうことは、この時期の児童にとって、大変有意義であると思われる。年上として、年下の園児を迎えて、主体的に活動することによって、2年生に向けての自覚が芽生えると思われる。生活科のねらいである「身近な人々とかかわり、相手を大切にし、思いやる気持ちを持ち、ともに生きていく」という心情をはぐくむのに適した単元であると考えます。

○ 本学年の児童は、生活科の時間が大好きで、いつも心待ちにしている。これまで、異年齢の児童とのかかわりとしては、2年生と一緒に「がっこうたんけん」をして、学校の中を案内してもらったり、「おもちゃまつり」で、おもちゃの作り方を教えてもらったりしている。また、6年生と一緒に自然体験学習に行ったり、掃除や給食の仕方を6年生から習ったりもしている。このように上学年の児童に温かく接してもらう中で、人とかかわる楽しさを味わっている。

また、思いや考えを伝え合う活動としては、生活科ではこれまでも、自分たちが発見したり、感じたりしたことを発表し合う場を設けてきた。また、各教科の学習の際には、隣同士などで自分の思いを伝え合うなど、少人数での伝え合う活動は、楽しくできるようになってきている。しかし、グループや全体の場での話し合いでは、自分の思いを伝えることに抵抗感をもっていて、自分の思いを上手に表現できない子もいる。

○ 指導に当たっては、話すことや友達とうまくかかわることが苦手な子も、幼・保・小の交流会である「なかよしのかい」で、1年生として思いやりの気持ちを持ち、上手にかかわり合うことができるように以下の4つのことに留意して取り組んでいきたい。

1つ目は、幼稚園の先生方と話し合い、グループづくりを工夫することである。今までにない環境下に身を置かせることによって、主体的な行動への意欲を喚起したい。

2つ目は、教師による支援である。かかわり合うことに苦手意識をもっている子が、自信をもって生き生きと園児に接していくことができるように、積極的に言葉かけをしていきたい。また、教師自ら、進んで一人一人の工夫や頑張りを取り上げ、認めたり励ましたりしていきたい。

3つ目は、場の設定である。1年生が日々生活している教室で活動することは、かかわり合いがうまくできない子にとって、緊張を和らげ安心して取り組めると考える。また、教科書、ノート、道具箱、ランドセルなどの、普段自分たちが使っている、具体的な学習用具を介することは、言葉で伝えることの苦手な子どもでも、園児に分かりやすく説明できると考える。

4つ目は、一人一人に、役割をもたせることである。学校生活の様子を伝える場面では、必ず、一人に一役を割り当てる。そうすることによって、友達とかかわることが苦手な子も、自分から意欲的に園児に働きかけることができると考える。責任をもってやりきることで、自信をもたせ、次へのステップにつなげていきたい。

そして、この交流会を通して人とかかわり合う力をより一層つけていきたい。

6 指導計画（全7時間 ※生活科4時間、国語科1時間、図画工作科2時間）

次	時	主な学習活動	主な評価の観点
第一次	1（生活）	○幼稚園児・保育園児と交流会をもつことを伝え、どんなことをすると楽しい会になるのか、これまでのことをもとに、話し合う。	・交流会を行うことに関心を持ち、どんな準備をすれば園児が喜んでくれるかについて、意欲的に話し合おうとしている。
第二次	1・2（図工）	○話し合ったことをもとに、プレゼントや飾りなどをつくる。	・園児を温かく迎えようと、プレゼントや準備物をていねいにつくっている。
第三次	1（国語）	○それぞれのグループの中で役割を決め、教科書、ノート、道具箱、ランドセルなどを用いて学校生活について紹介する準備をする。	・何をどのように説明すると相手に分かりやすく伝わり、園児に喜んでもらえるかを考えながら、紹介の練習をしている。
第四次	1・2（生活）	○幼稚園児・保育園児を招き、小学校生活を紹介したり楽しく交流をしたりして、かかわり合うことを楽しむ。	・楽しい会になるように、自分の役割を一生懸命に果たしながら、かかわり合おうとしている。
第五次	1（生活）	○交流会を振り返り、感想を話し合う。	・学習を振り返り、自分なりの感想をもち、積極的に発言しようとしている。

7 本時のねらい

- 幼稚園児・保育園児を招き、小学校生活を紹介したり楽しく交流をしたりして、かかわり合うことを楽しむ。
- 小学校生活の様子を紹介する中で、自分たちの成長を感じる。

8 評価の観点

- 楽しい会になるように、自分の役割を一生懸命に果たしながら、かかわり合おうとしている。
- 小学校生活の様子を紹介する中で、自分たちの成長を感じていたか。

〇〇小学校1年生との交流会 指導案

小学生 ねらい	〇幼稚園、保育園の園児との関わりを楽しむ。〇小学校生活の様子を紹介し、自分たちの成長を感じる。		
5歳児 ねらい	〇1年生との交流を通して小学校生活に期待をもつ。〇小学生との触れ合いを通して、かかわる楽しさを味わう。		
小学生 教師の指導と援助	時間	活動の流れ (〇小学生 ●園児)	5歳児 教師の指導と援助
〇今日まで取り組んできたことを生かし、一緒に活動する楽しさへの思いをふくらますことができるように、言葉がけをする。	9 : 0 0	〇小学生は園児を迎える準備をする。	〇今日の『1年生との交流会』について話し合い、『楽しみにしている気持ち』や『不安な気持ち』をしっかりと受け止めるようにする。今日の『1年生との交流会』の活動や内容がわかるように事前に知らせる。
〇各クラスから、数名の児童を体育館まで迎えに行かせる。温かい気持ちで出迎えることができるよう、声かけをする。	1 0 : 1 0	●園を出発する。	〇小学校に到着すると、学校の建物や飼育物などを見たり、雰囲気等を感じ取ったりできるように声をかける。
〇姿勢、声の大きさに気をつけて、積極的に授業に臨むよう、言葉がけをする。	1 0 : 2 5	〇園児を出迎える。	〇小学校を訪問することが初めての幼児もいるため、不安を感じたり、戸惑ったりする幼児もいるため、次の行動を丁寧に知らせ安心感がもてるようにする。
〇担当園児の名前をグループごとに決め、覚えさせておく。	1 0 : 5 0	●小学校に到着する。	〇授業中であることを知らせ、静かに移動するように知らせる。
〇あらかじめ、挨拶、自己紹介、説明の仕方を練習しておき、必ず、1人が一役、責任をもってやりきることで自信をもたせたい。	1 1 : 1 5	●4グループ(4クラス)に分かれる。	〇授業の様子を静かに見せてもらい、1年生が勉強をしている姿を見たり、がんばっている様子を感じ取ったりできるようにする。
〇自分の役割をしっかりと果たせるよう励ましたり、頑張っている児童を見つけたりして積極的に称賛する。	1 1 : 1 5	〇授業を公開する。	〇机や椅子・道具箱やランドセル等の持ち物に触れ、少し小学生気分を味わえるような場にする。1年生の学校生活等を身近に感じることができるよう場にする。
〇会の運営は、できる限り子どもたちの手に委ねて、教師は、サポーター役に徹したい。	1 1 : 2 5	●クラス毎の授業を見る。	〇小学校に向けての準備を始める時期でもあり、教室の雰囲気を感じ取り喜びや期待につながるように声をかける。
〇出し物を見せ合う場では、お互いのがんばっているところなどを認め合えるように援助する。	1 1 : 2 5	1組～4組まで	〇体育館では、小学校の先生や1年生の話を良く聞いて行動できるように援助する。
〇簡単な遊びを通して、一緒に遊ぶ中で触れ合ったり、ルールを守って遊んだりして楽しめるようにする。1年生が中心になって、作戦をたてるように、言葉がけをする。	1 1 : 3 5	〇学習に使うものなどを見せて、説明する。	〇園児は名札の色でチーム分けをし、自分がどのチームの仲間かがわかるようにする。
〇春になったら、一緒に小学校で生活することへの期待をもたせる。	1 1 : 3 5	●持ち物や道具箱などを見せてもらい、説明を聞く。	〇ボール送りゲームでは、1年生と力を合わせたり、相談したりしながら、自分も仲間の一員として参加できるように援助する。
	1 1 : 5 5	体育館に移動する。	〇相談タイム・作戦タイムの時には、相手の話を聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら参加できるように働きかける。
	1 1 : 5 5	歌『にじ』	〇簡単な遊びを通して、一緒に遊ぶ中で触れ合ったり、ルールを守って遊んだりして楽しめるようにする。
	1 2 : 0 0	〇1年生は園児を見送る。	〇チーム内で、お互いに応援したり、励ましあったりしている姿をしっかりと認めるようにする。
	1 2 : 0 0	●園児は靴を履いて並ぶ。	〇全員で歌を歌ったり、今日一緒に遊んだりして楽しかった気持ちを感じ取ることができるように声をかける。
	1 2 : 1 0	●小学校を出発する。	〇春になったら1年生と一緒に小学校で一緒に生活することへの期待をもたせる。
	1 2 : 1 0	〇クラスごとに、今日の交流について話し合う。	〇交流を通して、一人一人の楽しかった気持ちや喜び・1年生への憧れの気持ちなどをしっかりと受け止めるようにする。
〇今日の交流について一人ひとり楽しかったことやうれしかったこと、感じたことなどを発表する。	1 2 : 2 5	●園に到着する。	〇今日の交流について一人一人の楽しかったことや嬉しかったこと、感じたことなどを言葉で表現し合える場をもつようにする。楽しかったことだけでなく、不安だった気持ちがどのように変化したかを引き出していくようにする。
〇今日の交流会での工夫やがんばりを取り上げ、認めたり称賛したりする。	1 2 : 2 5	●今日の交流について話し合う。	